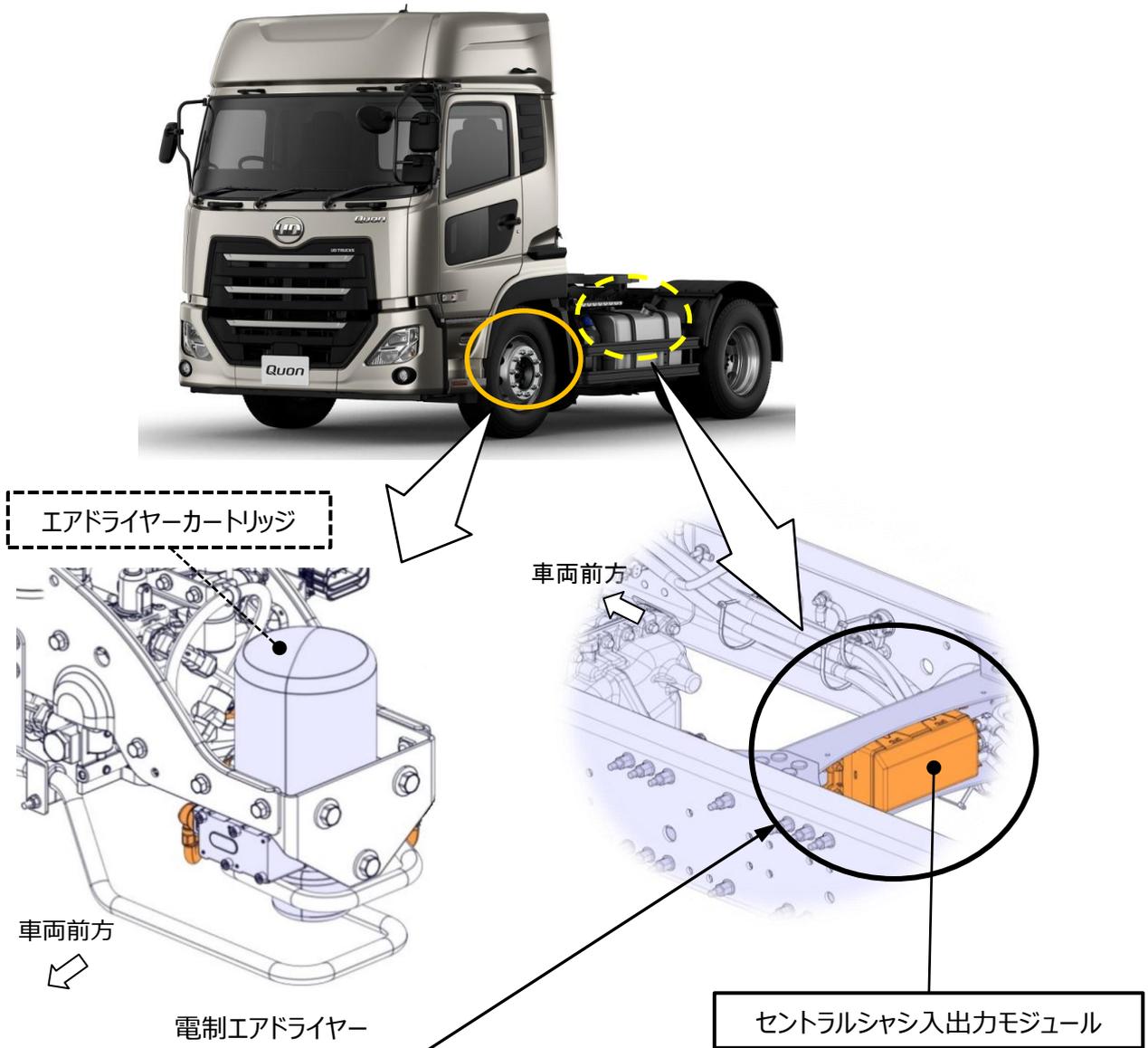


改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

大型トラックの電制エアドライヤーにおいて、セントラルシャシ入出力モジュールのエアドライヤー再生プログラムが不適切なため、当該ドライヤー乾燥再生動作が適切な頻度にて行われず高湿度の圧縮空気が供給先のエアタンク及びトレーラーブレーキ回路内で結露し凝縮水が生成される。そのため、そのままの状態で使用を続けると、高湿度の圧縮空気が各回路に供給され結露によるシステム異常等の警告メッセージが表示され、最悪の場合、トレーラー側ブレーキ回路内で凝縮水が凍結し、トレーラー側の主ブレーキが効かない、または駐車ブレーキ引きずりにより火災に至るおそれがある。

改善の内容

全車両、セントラルシャシ入出力モジュールのプログラムを、対策プログラムに書き換える。また、初年度登録から2カ月以上経過した車両は、エアドライヤーのエア出力ポートを点検し乾燥剤の粒子等が付着している場合は、エアドライヤーカートリッジを新品に交換する。

注： 内は、措置する部品を示し、 内は必要に応じて交換する部品を示す。

識別：作業完了車は、助手席ステップ部VINプレート左上端に黄色ペイントを塗布する。